



東っ子だより

— 学校教育目標 —
せいっぱい きたえ
のびよう 東っ子
自分を出し切り
笑顔いっぱいの学校に

令和7年10月20日 NO.8

「あきらめない ～最後の最後まで～」

9月27日（土）。週間天気予報とは違い、見事に晴れ渡った秋空の下、第46回東白川小学校運動会が行われました。

熱戦に次ぐ熱戦で、赤白どちらの団も白熱した運動会となりました。各団席からも熱い声援があがり、力と力、心と心、声と声がぶつかり合う姿がいっぱいありました。子どもたちは、自分の力を出し切り、笑顔いっぱいの運動会になりました。

今年のスローガンに沿って振り返ります。

【あきらめない】・・・

閉会式の中で話したことですが、運動会までの日常生活と本番での努力と頑張りが運動会の成功につながりました。この運動会の取組を通して、最後にどんな力がついたのか、何ができるようになったのかは振り返りをしました。様々な場面において、走るのが得意な子、歌うのが得意な子、絵をかくのが得意な子など、得意不得意がある中で、「自分の力をせいっぱい出し切る」ことができる自分づくりが必要だと思います。そして、「頑張ったね。」の言葉に笑顔で「ありがとうございます。」とか「さらに、次はこうしたいです。」と言える心。こういった心を育む東白川小でありたいと願っています。

また、運動会には、勝敗がつきます。勝ちにこだわって取り組むことで力がつくことはたくさんあります。一つの目標として勝つことを意識した取組は、どこにでもあることです。一方、勝敗にこだわりすぎて仲間を責めてしまい傷つけてしまうこともあります。いつまでも勝ち続けることは難しく、負け方（負けた時の振る舞い）を教えることも大切です。人の心を感じ、力を合わせることの楽しさを実感できるあたたかい心を身に付けてほしいと願っています。

【最後の最後まで】・・・

最後まで声を出す、最後まで心をそろえる…。取組期間中から様々な「最後までやりきる姿」を目にしました。日常生活の延長線上に運動会を位置付けた指導が子どもたちへの意識改革につながったようでした。授業中のあいさつの声、姿勢、挙手発言…。意識して取り組むことで本物の自慢へとつなげていきたいです。

最後に・・・

急なプログラム追加など大変ご迷惑をおかけしました。来賓の皆様、PTAの皆様、地域の皆様のご支援のおかげで、運動会を成功に終えることができました。また、その後の片付けもスムーズに行うことができました。皆さんに支えられた運動会となりました。ありがとうございました。

情報モラルについて

情報モラルとは、「情報社会の中で生きていくために必要な考え方や態度」のことを言います。インターネット等を活用する際に、人に迷惑をかけたり、自分が危険な目に逢わないようにしたりするためのルールやマナーとも言えます。最近、小学生の間でもSNS等に勝手に悪口を書き込まれたり、動画を投稿されたりする事案のトラブルが増えています。ある市ではスマホ等2時間条例が制定されるほど世間で心配される状況です。「他の地域の話だろう。」や「まさか、うちの子が…。知らなかった。」とならないためにも、今一度、ご家庭の方で端末等のルールやマナー等の約束を再確認していただくと幸いです。何か起きてからでは遅いのです。

学校でも引き続き指導していきます。よろしく申し上げます。

